関大
発行所
関西大学校友会
〒564 吹田市山手町3-3-35
発行人　金田雅一
電話 06(388)1121 代表
FAX 06(380)8476
振替口座大阪3-55594番

過去最高の9万人突破

入試受験者

地方試験拡大が奏功

他の私大を圧倒

全国的に関大志向増加

試験問題と取り組む法学部の受験生たち
（2月1日、法学部226教室で）

一九九二年度の関西大学入学試験が、二月一日、まず法学部でスタート。六日の文学部まで六日間、千里山（一部）、天六（二部）の両学舎で、また地方試験は一、二の両日、札幌、東京、福岡などで実施された。一日の東京試験場は、雪のため試験開始が一時間、繰り下げられるハプニングがあったが、無事終了した。また合格発表は二月十四日法、経済、商の各学部、同十五日は文、社会、工の各学部ですべて郵送で行われた。

（合格発表の詳細は次号に掲載の予定）

本年度の志願者数は一部八六、三二八、二部四三二八人の合計九〇、六五〇人で昨年度の七七、五〇六人より実に二三、一四四人多く約一七％増。過去最高の志願者数を記録するとともに初めて八万台を飛び越えて九万の大台に乗った。関西学院、同志社、立命館など各大学が軒並み昨年度の数字を下回る中での現象だけに目立ち、「冬の時代」「サバイバル時代」の幕開けといわれるおり、母校は幸先きのよいスタートを切った。

学部別でみると工学部が一七、〇八八人（昨年度一一、四一一人）で五、六七七人増と一番多く、社会学部三、九五〇人増、文学部三、六八二人増と続き、経済と法の両学部がわずかに減少した。

女子志願者は、一八、〇二〇人で全体の二〇・九％を占め、昨年度より二、九七二人多い。特に工学部志願が一、〇〇七人と昨年度の五七三人と比べ、四三四人と大幅な増加が目をひく。その他、文学部は一、五二六人増、社会学部は八九一人増だった。一方、浪人の比率は約五二％強で、昨年度より現役生が少しだが増えている。

今回の大幅な志願者増には複数の要因が考えられる。①従来、地方試験は一日限りだったのを、今年度から文、商、社会の三学部を二日間にしたため、本学試験と重ならない日程の文と社会の両学部は受験のチャンスが最大三回になった③工学部の試験科目中、理科は物理と化学の二科目だったのが、今年から物理か化学の一科目選択に変更された④隔年現象ともいわれるが、昨年度が少し広い門だったため、受験生に少しでも競争率の低いところへの心理が働いた――など。

また、今年度の志願者の特徴について入学試験課では、地方試験の志願者が二〇、〇九六人（昨年度七、一六四人）と三倍近く増えていることから「全国的に増加しており、すそ野が広がった」とみている。試験場別にみてみると、名古屋一一、三四五人（昨年度三、一五八人）、東京二、八二三人（同一、一八〇人）、福岡一、二六六人（七七〇人）、広島一、五九二人（九〇九人）、高松一、〇九〇人（六八四人）、金沢五四三人（三一四人）、札幌三四一人（九一人）、仙台九六人（五八人）。札幌の昨年度比三・七倍、名古屋三・六倍、福岡二・九倍、東京二・四倍など、著しい伸びをみせている。

本学では平成元年から仙台、名古屋、同二年から福岡で毎年一回、「地方都市公開講演会」を開き、年を重ねるごとに参加者も増え、昨年の名古屋講演では定員二百人に三百人が詰めかけた。そのほか入試説明会などPRも精力的に取り組んでおり、入学試験課は「広報活動がようやく実りつつある」と分析している。

稲野理事長　私大連盟常務理事に

日本私立大学連盟（西原春夫会長）理事に昨年十一月、就任した関西大学の稲野治兵、衛理事長は、一月十四日、同連盟常務理事に選出された。

理事の互選によるもので任期は五年三月まで。同連盟には全国の主要大学、八十余校が加盟している。

近年にない盛況

校友会新年互礼会

新春恒例の校友会主催「平成四年校友会新年互礼会」が一月十三日午後六時から大阪梅田の新阪急ホテル花の間に心身ともにリフレッシュした二百人の校友を集めて華やかに開かれた。

法人、教学、教育後援会の大学関係者と、校友会執行部、国会議員をはじめ府県市町各議員、地域・職域の組織代表らで開会時には、用意された席は余すところなく埋め尽くされた。参会者が二百人に及んだのは近年にない記録的な数字で、校友会の組織を支える人たちの新年を迎えての並々ならぬ決意のほどをうかがわせた。東京、愛知、岡山など遠隔地から駆けつけた支部長らのほか、職域会、同期会、各種団体など八十を超す組織代表者が顔をそろえた。

徳山喜昭校友会副会長の開会の挨拶のあと現役応援団の高木章・七十代団長のリードで学歌を斉唱。植垣幸雄会長は「今年は飛躍の年として躍進を続けることを確信しており、みなさんの一層のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

続いて稲野治兵衛理事長、台を飛び越えて九万の大台に乗った。関西学院、同志社、立命館など各大学が軒並み昨年度の数字を下回る中での現象だけに目立ち、「冬の時代」「サバイバル時代」の幕開けといわれるおり、母校は幸先

大橋昭一教学部長から、それぞれ祝辞があり、稲野理事長は「熟慮断行の年にしたい」と力強く〝宣言〟。畑下辰典評議員会議長が乾杯の音頭をとって宴がスタートした。

各テーブルでは、今年初めての顔合せとあって、なごやかな談笑が続き、ともすればユーモラスなテーブルスピーチの内容を聞きもらすほど。また応援団による演舞、吹奏楽部演奏も披露され、予定の二時間はまたたく間に過ぎ、締めくくりの追遠歌を元気に歌い上げ、万歳を三唱、閉会した。

新年互礼会で挨拶する植垣会長

奨学基金に百万円寄付

岩崎記念祭実行委

「岩崎卯一先生生誕一〇〇年記念祭」が昨年十一月十日、関西大学一〇〇周年記念会館で盛大に開かれたが、同記念祭実行委員会（篠原昭三委員長）は、同十二月二十日、記念行事の終了に伴い、奨学基金の一部に役立てて下さいと百万円を法人関西大学に寄付した。

同日午後三時、篠原委員長、上林良一、東山利雄両副委員長、藤本道人事務局担当の四人が、稲野治兵衛理事長に目録を手渡した。

三年越しの念願だった岩崎先生の生誕一〇〇年記念祭を無事開催し、さらに貴重な記念文集の発刊もすませたとあって、稲野理事長と懇談しながら、一同、さすがに感慨深げだった。

目録を手渡す篠原氏（左）

春は桜の母校によっといデー

92スプリングフェスティバル

百種二千五百本の桜が咲きほこる四月のキャンパスは、新入生を迎えたばかりの年度始め。一年のうちでも最も華やいだ雰囲気につつまれている――そんな春の一日を校友が家族や同窓と一緒に楽しめる校友会行事「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」は、今年も四月五日の日曜日、大学の全面的な協力を得て千里山キャンパスで開催される。毎年、この日にあわせて校友会の各組織やゼミOB会も教室で総会や懇親会を計画するところが増え、OBと現役を結ぶ行事としても大きな成果を挙げており、今年で七回目。各見学施設では普段なかなか見ることのできない特別展示も企画されており、春の一日をゆっくりと楽しめる。四月五日は、みんな揃って桜の母校によっといデー！

◆開催日時　四月五日(日)午前十時～午後三時（時間内に自由に来学）雨天決行

◆開催場所　関西大学千里山キャンパス（駐車場はないので電車をご利用下さい。阪急千里線「関大前」駅下車）

■主な見学施設

「流伝の萬葉集」展を開催で準備が進められている。

萬葉集は、現存するわが国最古の歌集であり、質・量ともに日本文学の代表的古典。生活の中から湧き出てくる感動を素直に表現した四千五百余首の歌は、当時の生活、習慣、社会制度、事件等あらゆるものを包含しており、萬葉集は現代人にとって貴重な文化的財産であると同時に、萬葉の世界を現代に鮮やかに蘇らせるタイムカプセルといえよう。

展示では、同館の所蔵する資料を中心に、伝本、古注釈書、研究書等を系統的に展示し、見学者が萬葉の世界に浸ることができるよう、壁面には代表的な歌と歌のイメージを想像させる風景写真も展示される。

◆総合図書館……昭和六十年四月開館。全学の学術情報の中枢として、また学園のオアシスとして重要な役割を果たしている。蔵書数は一六〇万余点。

一階展示室では、今年もスプリングフェスティバルにあわせ、春季特別展『流伝の萬葉集』（仮称）を開催の予定

◆考古学等資料室……第一グラウンドの上に建ち、校友には馴染みの深い旧図書館本館（簡文館）にある考古学等資料室には、重要文化財に指定された出土品をはじめ、末永雅雄名誉教授の復元した甲鎧類、本紙の新年号一面を カラーで飾った「猿の埴輪」など、約一万点に及ぶ貴重な資料が収蔵されている。

今年は、壁画古墳として有名な高松塚古墳が発掘されてから、ちょうど二十周年になることから、壁画の写真パネルなどを特別展示する。また来場者には、先着順で高松塚古墳関連資料の配付も予定している。

4月5日(日)多彩に

千里山キャンパスで

高松塚発掘20周年記念展

大阪まちなみ賞 奨励賞受賞

◆一〇〇周年記念会館……創立一〇〇周年のメイン事業として平成元年十一月に竣工した関西大学の新しいシンボル的建物。先頃、「傾斜地を、巧みに活用し、緑のキャンパスに溶け込んだ親自然のやさしい建物で、記念的建築物の新しいあり方を示した」として第十一回大阪まちなみ賞の奨励賞を受賞した。

三階にある玄関を入ると広いエントランスホール、左右にはレストラン・サロン棟と事務室棟が配置されている。二階は八百人収容の大ホールをはじめ、国際会議も開催できる特別会議室、和室のほか大小六つの会議室、ロビーなどがある。一階は二五メ×七コースの温水プール。

教室使用は申し込みを

◆団体の総会・懇親会……校友会の登録組織をはじめゼミOB会、クラブOB会などが、総会・懇親会・現役との交歓会などを開催する場合は、大学の配慮により教室を会場として使用することができる。但し、事前に校友会事務局まで申し込みが必要で、団体名（催名）、連絡先住所・氏名、電話番号、予定参加人数等をお知らせ下さい。大学と調整の上、後日、使用教室を連絡します。（教室等を使用しない団体も、当日参加者全員に配付するプログラムには催し内容を掲載しますので、必ずご連絡下さい）

▼本紙三月号に申込団体を掲載……三月六日（金）までに申し込みの団体については、会員への参加呼びかけの一助として、本紙三月号（三月十五日付発行）に「総会・懇親会等開催団体一覧」として申込内容を掲載します。早めに申し込み下さい。

■行　事

◆第一グラウンド……午後一時から校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶。続いて応援団三パートによる演舞・演奏・ドリルなどが行われます。参加者は全員お集まり下さい。（雨天の場合は、一〇〇周年記念会館）

■休憩・食事・弁当

◆野点（無料）……大学院前芝生では、紅白幕を張った中に緋毛氈付床几を設置して、茶道部現役学生の協力による無料の野点を行います。ごゆっくりお寛ぎ下さい。

◆昼食・弁当……昼食には千二百席を有する生協食堂が十時半より臨時営業。和定食・洋定食・麺類・丼物やお子様向けメニューも用意して利用を待っている。一〇〇周年記念会館のレストラン紫紺では喫茶・軽食を営業。

また、缶ビール・缶ジュース、特製弁当（お茶付き・千円）は、総合図書館前の生協テントでも販売しており、教室や桜の下で懇談会等を企画の場合は、弁当やオードブルなど特別料理の予約もできる。申し込みは、電話〇六―三八八―七六四二、関大生協飲食事業部まで。

◆問い合わせ……'92スプリングフェスティバルに関する問い合わせは、全て校友会事務局（電話〇六―三八八―一二二一内線四六二一～四）まで。

名簿調査にご注意

校友会とは関係ありません

「同窓会名簿を発刊するためご協力を」と、一見、関西大学校友会が調査しているように受けとられるまぎらわしい身上調査カードが出回っており、校友会事務局にも、校友のみなさんから問い合わせが相次いでいる。

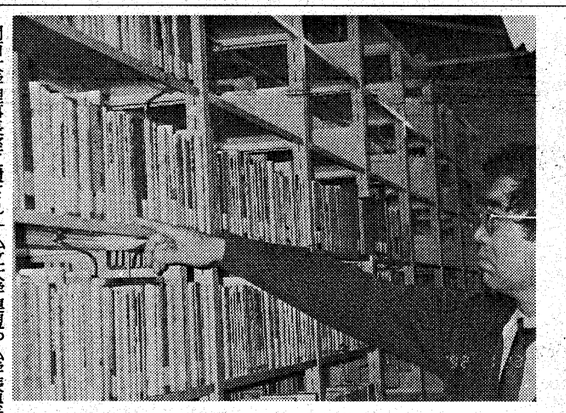
なかには「校友会ですが」とか「四年に一回の……」とか、いかにももっともらしく電話をかけてくるケースもある。いずれも業者があらかじめ入手した名簿に不十分な〝調査カード〟などで手直しした程度の名簿を作成して売りつけるのがねらい。関西大学校友会とはいっさい関係はない。

正規の校友名簿は来春発行

校友会では、平成五年三月発行予定の〝本物〟の「校友名簿」の作成作業を進めており、住所判明の全卒業生を対象に今年の六月下旬ごろ、調査の往復ハガキを郵送する予定にしている。

3月にもオープン

久井文庫　飛鳥研究所に設置


オープンも近い「久井文庫」

関西大学理事長室に遺された故久井忠雄氏の蔵書千六百五冊が、このほど「久井文庫」として奈良県明日香村の飛鳥文化研究所に設置されることになり製作中の書架が出来次第、早ければ三月にもオープンになる予定。

読書家だった久井先生は、私立大学連盟や私学振興財団の理事会で東京へ出張するさいには、かならず本を携行、往復で一冊は読み終えたといわれる。新聞の書評欄で気に入った書物を見つけると、さっそく書店に注文して取り寄せるなど、家庭での蔵書とは別に本はたまる一方。

ジャンルは政治、経済、教育、文学など幅広く、いわゆる時々のベストセラーなども多い。渡辺淳一、堺屋太一、宇野千代、後藤田正晴らの著者も。とりわけ、「子どものしつけと学校教育」など家庭のあり方、親子の情愛にふれた教育ものや〝人の心〟に関した本などが目につき、大学理事長としての立場や「人間久井」をうかがわせる書物がずらり。中にはあちこちに線を引いた箇所のある本も。

大学図書館では、関西大学関係、単行本、新書本、文庫本、洋書などに分類した上、一番から千六十五番までの番号を打ち、「久井文庫」と記

高尾、中先生退職特別講義

三月で定年を迎える関西大学法学部教授の高尾正男、中義勝両先生の退職記念特別講義（最終講義）が、一月十一日と同十三日、それぞれ行われた。

高尾教授は、ふだんと変わらない口調で一時間半にわたって「権力の論理と倫理―プラトンの教えと題して講義。一方、中教授は、満員の学生を前に張りのある声で「間接正犯について」のテーマで一時間半、〝お別れ講義〟をした。

会と催し

▽平成三年度寝屋川支部総会　二月二十二日（土）午後六時「四季丸味」

▽第六回常議員会　二月二十六日（水）午後六時　パレス会議室

▽関西大学政治学会第八回総会　三月七日（土）午後二時　エルおゝさか

▽関西大学体育OB会総会・第四回大島鎌吉スポーツ文化賞授与式　三月十四日（土）午後一時　関西大学一〇〇周年記念会館

▽高松塚壁画古墳発掘二十周年記念行事　三月十五日(日)午前十時　関西大学一〇〇周年記念会館

▽第五十七回定例代議員会　三月二十一日（土）午後一時半　関西大学一〇〇周年記念会館

した背ラベルを張る作業を終わり、今、目録づくりを進めている。

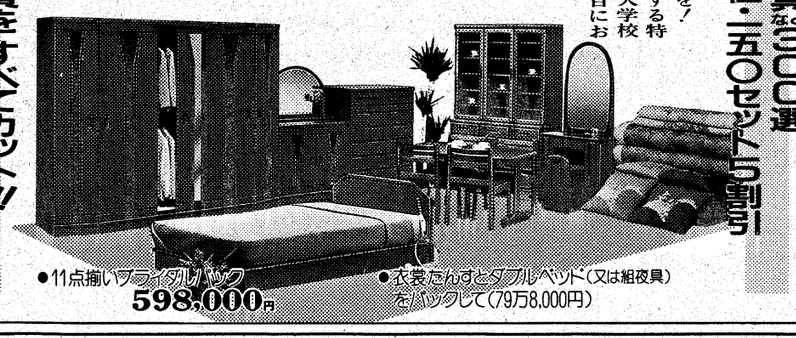
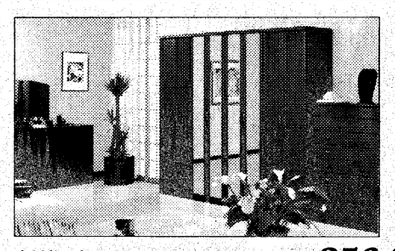
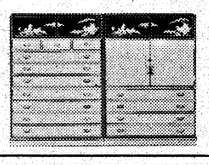
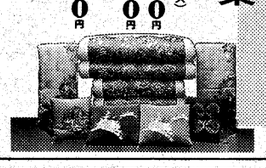
遺族の長女和子さんも、このほど学校を訪れたさいに、図書館で仮保管されている久井文庫をみて、大変喜んでいたという。

墓の零

ことはワイシャツの話である。ワイシャツを跳えだしたのは、四十代の頃からで、二枚で一万三千円というものであった。その後頂きものがふえてきて、それらが一枚一万円以上のブランド品であったところから、いつの間にか自分で跳える時にも一万二千円くらいになった▼三年前に「貰いものですが」と仕立券つきのワイシャツを贈られ、着てみると持っている中でも一番肌ざわりがいい。胸に何かマークが入っていたから、上等だろうとは思っていたがそれがミラションのもので五万円もするものだと知ったのは、一年ほどたってからであった▼他のものが痛んできたので、三枚ばかり跳えるつもりで百貨店へ行ったところ、一万五千円の外国品に並んで、Mのマークがあった。一瞬五千円と見えたのだが、すぐ誤りに気がついた。それにしてもワイシャツ一枚が五万円とは驚いた。着心地のいいのも当然だった▼再び、それにしてもだが、ワイシャツが五万円だとネクタイも三、四万円でなければ合わないカウスも靴もやはりそれくらいだろうし、背広となると十万や二十万というわけにはいかぬ▼さらに、満員電車での通勤とはいかぬから、マイカーかハイヤー出勤ということになってくるし、住まいも郊外の一戸建てか億ションでなければならぬ。それを維持する年収は、と考えを巡らすと、一枚のワイシャツで息が詰まる▼中流意識もない私には荷の重いワイシャツであったがやっと普段着に格さげできたのでほっとしているが、贈り主が上場企業の会長夫人であることを考えると世の中は広いといわねばならぬ。ことは、ワイシャツの話だが、どこかバブル経済に似てるのがニクイ。

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木・鮫島国際特許事務所
会長・弁理士　鈴木武夫
所長・弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
（四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五二一）七四三一（代）
国際テレックス　〇五二五一五九〇五 TSIPOL
ファックス　〇六（五二一）七四三五

74年の歴史に支えられたハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama KATANO 1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

'92春の新作婚礼家具得決算市
全国優良製造工場104社出展
年に一度の決算・赤札
花嫁の家具まつり
ご招待日　2月29日(土)～3月24日(火)
共催＝全国製造メーカー104社
会場＝メーベル大阪
関大校友の皆さまへ
特別200組さまご招待
広島・府中、北海道家具など300選
'92春の新作も7種・一五〇セット5割引
今春挙式を予定される方にお得な情報を！
全国12大産地の優良製造工場104社が出展する特別企画がいよいよ開幕。この催しに関西大学校友200組さまが招待されますのでお早目にお申し込みください。
会場には広島府中、北海道、新潟、九州など婚礼家具の有名産地から新作300モデルがズラリ勢揃い。いずれも話題を集めた人気商品ばかり―。数を限っての限定販売だけに価格はメーカー希望小売価格の5割引が大半、中でもお得なのは、婚礼セットにドレッサー、食器棚、ダイニングセットなどすべてを組み合せて59万8千円のブライダルパックは、特におすすめ。色、材質、デザインなど多彩に、50タイプが展示されます。そのほか婚礼セット20万円台から手彫り彫刻家具などの高級品まで決算・赤札市ならではの蔵出し価格でぞくぞく到着!!さらに、決算特価から8%割引できる「外商特別ご優待カード」を応募の校友に進呈。新生活の準備は、ご予算が倍にいかせるお買得なこのチャンスに。
ムダな問屋の流通経費をすべてカット!!
20年の実績が証明する「安心のシステム」

●11点揃いブライダルパック 598,000円
●衣装たんすとダブルベッド（又は組夜具）をパックして（79万8,000円）
組み合わせスタイルいろいろ
システム家具特集

◆婚礼3点セット 5D・巾200cm（メタリック・グレー）…356,000円
◆婚礼3点セット 6D・巾240cm（ウォールナット）……398,000円
団地4.5帖にピッタリ品質と価格が決め手とびっきりの―お値打品ぞろい!!人気のベスト5登場
■ご婚礼2点（シタン）2,98,000円
■ご婚礼4点（ナラ材）638,000円
■ご婚礼4点（サクラ材）798,000円
総桐たんす「会津桐は最良材」
原木から手当して直営工場で創りあげます。
総桐和たんす……398,000円
総桐七重たんす　398,000円

甲州・西陣の織元と直結
ご婚礼「組夜具」「羽毛布団」特集
話題の羽毛布団から格調高い婚礼組夜具まで'92春の新柄80点を大展示。品質もJIS認可工場の製品とあって中綿も安心です。
◆婚礼組夜具5点セット（文様ドレス）限定48セット……98,000円
限定50セット　168,000円
◆羽毛・羊毛布団3点セット　羽毛掛（ダウン90%）羊毛敷・枕シングル　68,000円

関西大学校友200組様 特別ご招待
今すぐ、電話かハガキでお申し込みください。
☎06(320)0414
この催しに関西大学校友200組をご招待
希望者は、お電話かハガキでお申し込みを
【電話】☎06(320)0414
●折り返し詳しいご案内の地図付のご招待状を送ります。
受付けは午前9時～午後6時。日祝も受付
【ハガキ】①氏名②〒住所③電話番号④挙式予定日⑤来場予定日を明記し左記へ
〒533 大阪市東淀川区菅原2丁目8番7号
メーベル大阪「関大校友」係まで

北から南から

篠原氏を会長に
役員選出　雄叫会総会

雄叫会（弁論部雄弁会OBの会）は、二月四日午後六時天王寺・月華殿で本年度の総会を開いた。来賓の稲野治兵衛理事長を含め総数四十人が参加、盛大に行われた。

岡田誠一事務局長の司会で学歌斉唱、ついで経過報告があり、今総会が樫本信雄当会長が逝去されて以来空白の会長職をはじめ役員の改選と、当会員である稲野先輩が関西大学理事長に就任されたお祝いを併せての意義ある総会であること、また会員の各界での活躍ぶりも披露された。

役員改選では、篠原昭三氏を満場一致で新会長に選出した。篠原新会長は「故樫本前会長の遺志を受けつぎ、雄弁会の復活を願い、母校発展に寄与できる雄叫会でありたい」と挨拶。続いて稲野理事長の就任を祝して雄叫会から記念品が贈呈された。篠原会長は稲野先輩のプロフィールを紹介し「理事長で就任は我々雄叫会員の誇りであると、述べた。

稲野理事長は、「故久井前理事長の遺志を尊重し、関大グループ一丸となって直面する私学運営の難問に取り組みたい」と挨拶、学生時代の弁論部の一コマを披露、さらに前参院議員、坪井一宇氏（当会員）を激励した。

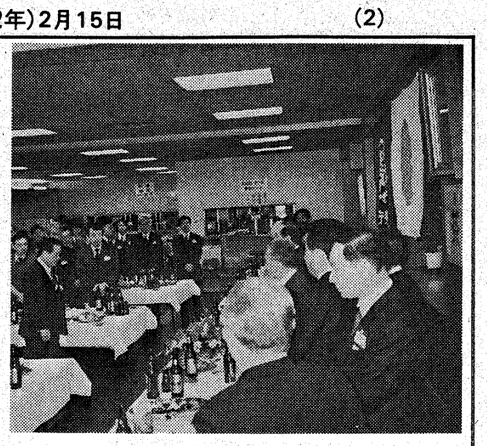
懇親会は、寺西武常任顧問の音頭で乾杯、自己紹介、雄弁会歌、カラオケなどなごやかな一夕を過した。逍遥歌のあと、東浦栄一副会長の閉会のことばで再会を約し、街へくり出して行った。

新役員は次の各氏。

名誉会長　稲野治兵衛▽常任顧問　寺西武▽会長　篠原昭三▽副会長　東浦栄一、日根直人、播磨荘一郎、高山一与志、高桑穣▽幹事長　倉永悦雄▽副幹事長　矢野太一▽事務局長　岡田誠一

（倉永　記）

雄叫会総会で乾杯する会員


200人が参加した大阪府庁秀麗会総会

新会長に服部氏
総会に若手参加目立つ　大阪府庁秀麗会

大阪府庁秀麗会の平成三年度総会及び新年年賀交歓会が一月十日午後六時半から、府庁別館八階で中川知事、稲野理事長、植垣校友会長ら多数の来賓を迎え、総勢二百人の出席を得て盛大に開かれた。

森幹事長の名司会で、学歌斉唱、森本会長の挨拶の後、役員改選が行われ、新会長に服部正敏環境局長（37年法卒）を選出、新体制が決まった。

引き続いての年賀交歓会では、稲野理事長と植垣校友会長から、激動する関西大学の現況、校友会のあり方についてのお話があった。中川知事からは「大阪府庁の実に様々な職場で関西大学の出身者が活躍している。今後とも府政発展のためにご尽力願いたい」と、励ましの挨拶をいただいた。

校友府会議員、大阪府下自治体職域懇談会北河内ブロック代表らからのスピーチの後、篠原相談役の発声で乾杯、懇親に入った。恒例の福引では当選番号の発表に一喜一憂、最後は、全員肩を組んで逍遥歌を熱唱したが、その音頭を今総会で勇退された森本前会長がとり、有終の美を飾られた。

今回は、今まで参加の少なかった若手会員が多く参加、お子様連れの女子会員も見られ、本会の発展に向け、大きく一歩を踏み出したように思えた。

その他の新役員は次の各氏。

副会長　熊木利隆（理事）、松本進一（知事公室次長）▽幹事長　森繁（農林水産部次長）▽副幹事長　片岡健彦（府民情報室長）、小西健夫（交通公害課長）、辻井克誠（農政課長）▽会計監事　福家一行（信用組合管理監）、南敏夫（羽曳野病院事務局長）▽相談役　篠原昭三（前泉北センター理事長）、岸田勲（中小企業信用保証協会理事長）、江田直介（同協会常務理事）、岩井幹朗（㈱テレコムりんくう代表取締役専務）、森本賢一（広報長）

（船井　記）

最高裁長官表彰
伊藤氏招き祝賀会　宝塚支部

宝塚支部（伊藤六祐支部長）は、昨年十二月十一日午後六時から、最高裁長官表彰（同年十月三日）を受けられた伊藤支部長とご夫人を新阪急ホテルにお迎えし、祝賀会を開いた。

支部役員と華水会ゴルフクラブ会員有志四十人が出席、渡辺副支部長から同表彰は内閣総理大臣表彰と同格で、渡辺氏自身、伊藤氏と同様調停委員の職にあるが、最高裁長官表彰はおろかが大阪高裁長官表彰もおぼつかないなど本表彰の重さを説明、祝辞が述べられた。さらに祝辞が続いた後、パターを記念品に贈呈した。伊藤氏から謝辞があり、盛会裡に和やかな祝賀会を終えた。

伊藤氏は、昭和四十八年裁判所調停委員に就任、以来民事・家事調停に多大の貢献をされ、兵庫県調停協会副会長、尼崎調停懇話会会長の要職を歴任され、その顕著な功績により兵庫県下では二人という同長官表彰を受けたもの。

（渡辺　記）

表彰式場前で伊藤氏ご夫妻

韓国同窓会本部総会に出席して
副会長　徳山喜昭

「韓国同窓会本部から十二月十七日に総会を開催する旨の案内状が来ているが……」

――十二月十三日、校友会事務局で藤本次長から相談を受けた。その時、神屋敷前事務局長が来られ、「韓国同窓会とは過去の交流もあり、これまでに学長も訪ねておられる。母校を想う遠い国の近い校友である。樫本会長の逝去後も行っていないし、久井理事長、吉田評議員会議長の葬儀の時にも何かとご芳志を頂戴している。誰か参加できれば……」との話になった。

しかし、ビザ、航空券等のことがあり、すぐ行ける人も見当たらない。何せ総会まで四日間しかない。私は、ビザはあるが、航空券をまず手に入れることである。「入手できれば日程調整をして行きましょうか」ということになった。神屋敷前局長も「担当副会長であるあなたならば韓国同窓会の校友もよく知っているし、大学の話もできるし一番良い。是非そうされては」と助言があり、植垣会長や金田局長、藤本次長とも相談して決まった。

早速、航空券の手配をするもOKの返事がない。十六日になって漸くフライトOKの連絡が入り、藤本次長が急遽韓国同窓会本部の李達雨会長との連絡、打ち合わせに奔走する、時間との戦いであった。

十七日、早朝よりKE七一四便のカウンターに藤本次長がダンボール箱を持ち込む。二人が顔を見合わせて安堵の一瞬であった。ゲートで別れてほっと一息。機上の人となれば、もう金浦空港である。

李会長、安炳泰副会長の顔が見える。訪韓して良かったと思った。堅い握手をして、空港からソウルの中心まで、運転手は平成元年文学部卒業の李英植君である。

空港からの道中、会長から「昨日は大学の入試日で大変な交通渋滞だった。韓国の大学は一斉試験で、ソウルで四十万人の受験生が一度に移動する。一人の受験生に平均四人の家族が同伴する」と聞いてびっくりした。その為に企業は出勤時間を一時間繰り下げるとのこと。今日は車もスムーズに流れ、総会場のニュー国際ホテルに直行する。

ホテル入口で「歓迎　関西大学校友会副会長徳山喜昭先生」の立派な立看板が目に飛び込んできた。感激し、大きな絆を見た思いがした。あとで、このホテルの支配人で元国税庁勤務の白象進さん（校友の手書きであると聞いた。

少し小雨模様であったが、定刻の午後六時に総会が始まる。出席者は女性一名を含む二十三名だった。

李会長の挨拶の中で来訪の紹介がある。兪泰興先生（元大法院長）の挨拶の後、改めて紹介があり、訪問について次のような挨拶をする。

まず格別の歓迎に感謝を述べ、平素母校・校友会に寄せていただいている李会長はじめ同窓の皆さんに深甚なる謝意を表する。

樫本会長、久井理事長、吉田評議員会議長三先生の葬儀には格別のご芳情を賜り、厚く御礼を申し述べる。特に兪先生が以前にグリーンパークホテルで語られた〝国籍は変えられても母校は変えられない〟というお話は、久井理事長も深い感銘を受けられたと紹介し、あり日の久井先生を出席者共々偲んだ。

新しく就任の稲野理事長、五選された大西学長、植垣校友会長の話をする。

稲野理事長は「久井前理事長が急逝のため、何も引き継ぎはしていないが、十年間副理事長として勤めてきたので久井先生の考えも分かっている。これからは、その路線を踏襲しながら、私学関西大学のあるべき姿を、私なりに関係者の意見を参考にして経営の任に当たりたい」と力強いお話をされていると伝える。

また、大西学長は新学部の設置に精力的に取り組んでおられる。その情熱と気迫はまさに驚異的である。

植垣校友会長は、校友の皆さんのお力を得ながら、機関紙「関大」の紙面通り活動・運営に邁進されていると紹介し、重ねておれをのべた。

出席者の中に、平成二年社会学部卒の鄭熙珠さん（中央大学新聞放送学大学院生）がいた。車を運転してくれた李英植君がいた。二人に年代の空白を埋めて頑張って下さいと激励し、挨拶を締め括った。

席上・曺圭甲先生（建国大学国際法教授）から日本と韓国の貿易収支では九十億ドルの韓国の入超の話があり、「二十万校友が何とか立ち上がってほしい」と発言があった。日本経済の世界的な話題が出ようとは思わなかった。関大卒業生の社会的地位、活躍の場は国際的レベルであり、また日本のリーダーであると感じさせられた話であった。

紙面が限られているので、尽きぬ想いをいだきながら報告を終わりますが、最後に李達雨会長を中心にした韓国同窓会本部にエールをおくり、翌十八日、空港までお送り下さった李会長、安副会長に深甚の謝意を表し、益々のご活躍をお祈りいたします。

（組織担当）

元気に集まった韓国同窓会員

東洋文学科開設40周年
日本文学科開設25周年
4月5日　記念パーティ
開催ご案内

今年の四月で、中国文学科の前身である東洋文学科が創設されて満四十年を迎え、中国文学科に改組されて二十五年になる。それらを記念して下記の要項で立食パーティを開催しますので、奮って御参加下さるようお願いします。

▽日時　本年四月五日（日）正午から午後三時まで

▽場所　関西大学会館四階大広間

▽費用　単身＝六千円　家族同伴者＝一万円

▽内容　学科の歩みと近況報告及び新旧教員と卒業生との懇談

日時は休祭日で新図書館、百周年記念会館等の学内諸施設が公開見学できる校友会春のフェスティバルのこの日に設定しました。

場所は学生時代には入館できる機会のなかった関西大学会館四階大広間を借切り、屋上からは発展した母校キャンパスを、さらには大阪市内やその周辺を眺望しながら、同窓生と飲むかつ語り合う場を提供できればと考えた結果で催される場合には事前に中国文学科合同研究室に申し出られれば名簿を閲覧できる。

内容は立食パーティ形式で、退任または転任された前教員と現在の教員スタッフによる挨拶と報告及び教員と卒業生・同窓生との懇談にあてたいと考えております。

卒業生も二千人に達し、大学の専任教員を始め、各界の分野で大いに活躍しているが、案外思いもかけない近くの関連企業や職場あるいは住宅地に先輩後輩がいるものです。この記念パーティを機会に同期生は勿論のこと、先輩後輩との年代を越えた同窓生の間に交流が生まれ、職場や家庭でより有意義な生活が過せる一助にでもなれば、私達にとっては望外の喜びです。そのために家族同伴者を優待することにしました。

なお記念パーティ開催と同時に名簿、記念テレホンカードの製作や『関西大学中國文學紀要』記念号に関するアンケート及び記念パーティの出欠調査のための往復葉書をすでに住所確認済みの同窓生に郵送しました。もしまだ受取っていない方がおられましたら、至急に中国文学科合同研究室に連絡して下さい。お会い出来る日を楽しみにしています。（鳥井　記）

稲野理事長に祝意
豊中支部役員新年会

豊中支部（榎原武雄支部長）では、支部顧問の稲野治兵衛氏が母校関西大学の理事長に就任されたのを機会に、祝意と激励を兼ねて役員による新年会を一月十八日午後六時から阪急庄内駅前・大北京で開催。年初にかかわらず四十五人が参集して稲野理事長に盛大な祝意を表した。

まず、榎原支部長から挨拶のあと記念品を贈呈。続いて支部役員である近江巳記夫・中野寛成両代議士をはじめ、今井康兼・蘆田定男顧問らから激励の言葉が贈られた。

これを受け、稲野理事長から謝辞に続き母校の近況報告とともに大学の将来像について熱っぽく抱負が語られた。

桝田昭豊中市会議長、青山正義大阪府会議員のスピーチを交え、会場満席のテーブルでともに年始の交歓を重ね、歓尽きぬ中を午後九時すぎ、逍遥歌でお開きとした。

新年会で挨拶する蘆田顧問

世代越えて絆深める
北斗寮岡山支部OB会

母校も大阪も変わった

関大北斗寮岡山支部OB会が昨年十一月十六日、岡山ワシントンホテルで開かれた。元寮主事の浜田一雄氏も大阪から駆けつけて参加者は十一人＝写真。

一期生から十五期生までさまざまではあったが、「北斗寮」のつながりは強く、世代を越えて思い出話に花が咲き、近況を語り合い、和気あいあいのうちに同窓の絆を深めた。

（山田　記）

北海道支部の新年会で報告

北海道支部の新年会が、一月二十五日午後六時から札幌京王プラザホテルで校友十九人が出席して開かれた。

まず木村勇市支部長から開会の挨拶、事務局から名簿の把握状況の報告があった。今回は新会員も加わり自己紹介の後、中田克道、金田弘夫両会員から、昨年催された岩崎卯一先生の生誕一〇〇年祭に出席した際の模様と、現在の大学キャンパスや大阪の街の変貌ぶりに驚いた旨の報告が行われた。

また北海道支部として今後の活動の進め方について話し合ったあと歓談。元吹奏楽部の林重男氏の指揮で学歌、逍遥歌を斉唱し、記念撮影をして散会した。

新年会に出席した会員十九人

鳥取発展の中心担おう
支部総会で誓い合う

平成四年度の鳥取支部総会が一月二十二日午後六時から、鳥取市内の芙蓉ホテルで校友四十人が出席して開かれた。総会は、君村支部長（20専一誉）の母校の現況報告をまじえた挨拶につづき、昨年度の関西六大学OB野球大会等の活動報告があった。野球大会は、昨年で四回目になるが、わが関大は残念ながら若手の出場が少なく、近年低迷している。

総会後の懇親会では、新規の出席者もあって大いに盛り上がり、関大スピリットを発揮し地元鳥取の発展に中心的役割を果たすよう誓い合った。また、当支部は来年支部設立四〇周年を迎えるため、プロジェクトチームをつくり、記念行事を企画していくことを申し合わせた。

（上山　記）

座席指定で親交深める
西宮支部新年互礼会

第三回西宮支部新年互礼会が、一月二十八日午後六時から門戸厄神近くのレストラン「愛蓮」で開かれた。今年は、参加校友の親交を一層深めるため、座席を指定にし、各人に自己紹介カードに記入してもらうという新工夫を試みた。

参加者は六十余人。各テーブルに幹事数人が同席するようにしたこともあって、急速に会話がはずんだ。自己紹介カードは、氏名、卒業年度、学部、所属クラブ、職業と地位、校友に役立てることは、校友にお願いしたいことは、最近のビッグニュースは――などの設問にこたえてもらった。

参加者の背景が浮き彫りにされ、親密の度合いが一層増したようで、試みは大成功。このため、今夏に予定している西宮支部総会に、市内校友の一割に当たる四百人の参加も夢ではないと、意を強くした。

（松本　記）

近況語り合い終始なごやか
西成支部年賀交歓会

西成支部年賀交歓会が一月十二日、二十三人が集まって天神森天満宮で御祓、玉串奉奠、記念撮影ととり行われ、まずはこの一年の健康を祈った。

懇親会は、飛田本通にある校友メンバー小川君の祇園寿司本店に場所を移し、大和田支部長の年頭の挨拶に続き、各メンバーが学生時代の思い出や近況を語り合ったが、出席者の半数以上が昭和五十年以降の卒業生で大いに若返った。最後は逍遥歌を歌い終始なごやかなうちに御開きとなった。

写真は意気盛んな会員たち

62会が総会と30周年祝賀会
みんな元気いっぱい

62会（昭37年卒有志の会・会長＝沢勲）は、一九六二年に結成し今年三十回目。一月十七日、大阪中央区のサウスタワーホテルで総会兼卒業三十周年祝賀会を開いた。出席者は夫人同伴で二十二人。みんな元気いっぱいの近況報告を行った。

また六二年卒業生全体の記念パーティを出来れば開いて、母校に恩返しをしたいとの要望も出された。最後は全員輪になって逍遥歌を高唱、閉会した。

新役員に次の各氏を選んだ。

会長＝沢勲（電）▽副会長＝良原輝雄（法）▽幹事長＝木津川行雄（法）

（沢　記）

6月7日に総会開催へ
城東支部が方針設定

城東支部（辻佐一郎支部長）は、一月三十日午後六時から、森小路・串花亭に正副支部長ら三役が集まり、支部総会の日程調整を行うとともに総会に向けて幹事の増強をはかることなど基本方針を決めた。

総会は六月七日午前十時から城東区民ホールでの開催を素案に、アトラクション・動員体制など四月中旬までに固め、幹事会に臨む。

（井上喜　記）

西成支部では、現在、より正確な支部名簿を作成中で、支部調査表を未提出の方は出来るだけ早く姫野晃幹事長まで返送下さるよう呼びかけている。また協賛広告への協力もお願いしている。同名簿は、六月定時総会のさい配布する予定。

（姫野　記）

人事

校友短信

◆福富町議会議長に森沢氏

十二月九日、改選後初めて開かれた広島県賀茂郡福富町議会で、森沢薫氏（昭42学一法、広島支部副支部長）が議長に選任された。

◆岩田氏が大阪弁護士会総会議長に

二月七日行われた大阪弁護士会の一九九二年度役員選挙で総会議長に岩田喜好氏（昭27学二法）が選任された。

◆石橋さんが油絵展

画家として活躍中の石橋武夫さん（昭45院博哲、大阪府泉南郡岬町）が、四月二日から七日まで大阪市中央区心斎橋筋一丁目三一〇、「ギャラリー井上」で「石橋武夫油絵作品展」を開く。

▽大阪府庁（平成3年11月1日付）

部長級＝商工部信用組合管理監　福家一行（35法）（平成4年1月1日付）

部長級＝豊能府民センター所長　宮野行雄（35経）▽母子保健医療センター事務局長　斉藤昌良（38法）

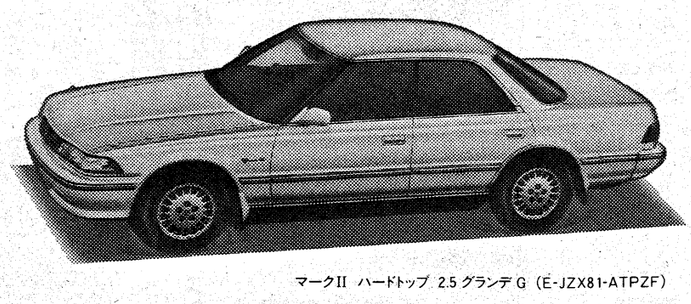
次長級＝労働部次長　吉田博（35法）▽土木部次長　大飯田詳五（40法）▽環境保健部参事　大江正隆（37法）▽商工部参事　山田軍司（37法）▽企業局参事　菱井進（40法）

課長級＝東府税事務所次長　泉弘（39法）▽西成府税事務所次長　菱田隆男（42法）▽三島府税事務所次長　木村良雄（42法）▽府教委文化財保護課長　亀岡勝敏（40法）

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば　家族亭
関西店　阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/ナビオ阪急/鹿波波戎橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江終点/江坂東急ビル/府道茨木警察北/高槻松坂屋/阪急川西能勢口駅前/国道71号西宮門戸陸橋西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランド/堺高島屋/D.Dハウス/阪急池田駅2F/守口京阪百貨店/角田町(ナビオ東)/新神戸店
東京店　有楽町/渋谷/蒲田/池袋/新宿/荻窪/大森/北千住/八王子/川崎/日比谷
横浜店　ヨコハマルミネ
津田沼店　イトーヨーカドー
札幌店　丸井今井本店
浦和店　伊勢丹
新潟店　伊勢丹
浜松店　松菱
浜松メイワン店

冬の山陰／香住港
味覚の王者・松葉ガニ
本場のかに料理
11月初旬～3月末迄（予約受付中）
ぜひ一度ご賞味下さい。ウィークデーのご利用は特別サービスいたします。
◆豊富な海の幸　荒磯料理
◆高級和牛のふるさと　但馬牛料理
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿　はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL.07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

就職あっせん
決断するは今！転職・就職の好機。
多数の企業があなたを求めています
●各職種求人多数あり
経営管理者（営業・総務・経理など）・科学技術者（電気・機械など）
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●年令は問いません
★まずお電話ください。（履歴・ご来社も可）詳細お打ち合わせします。
求人も常時受け付けております。
㈱タナベ経営　経営管理者・科学技術者紹介所（愛称　エリートバンク）
〈営業時間〉平日　19:00まで　土・日　17:00まで（但し第1、第3日曜及び祝日は休み）
労働大臣許可　№27・コサ・4
〒564　大阪・吹田市江の木町17-10（タナベ経営ビル）
☎06(338)3451

The Value of MARK II
マークII。それは、進化しつづけるもの。
常に時代とともに変革し続けること、常に質と美をきわめ、今と併走し続けること、それが真の高級車に求められる理想の姿であると考えます。グレードを更に高めたスタイリングにゆとりの2.5Ωエンジンを搭載。そして新たにプロジェクターフォグランプ*を装備。限りない成熟を求め、今、マークIIはNEWを越えてNEWESTへ
マークII、それは進化し続けるもの。

マークII　ハードトップ　2.5グランデG（E-JZX81-ATPZF）
セルシオ・ソアラ・マークII・エクシヴ・コロナ・カルサ
神戸トヨペット
TOYOTA
本社●神戸市兵庫区水木通2丁目1-1　☎078-576-5001(代)
＊プロジェクターフォグランプは、ハードトップ車にのみ全グレード標準装備となります。

OKK　KKK　ABC
ダイヤモンドホーローバス・カーテンウォール
ダイヤモンドアルミバスユニット・鋼材判別器製造販売
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
代表取締役　赤井常隆
本社　550 大阪市西区北堀江一丁目一一一八　電話　大阪〇六（五三八）三六二一代表　FAX　〇六（五三八）三六二五
東京支店　101 東京都千代田区東神田一丁目一〇六幸保第二ビル八階　電話　東京〇三（八六二一）五四七一代表　FAX　〇三（八六二一）五四七五
工場　静岡・神戸

今年もがんばろう！

各支部など新春の集い

170人の校友集う　年男年女に記念品

神戸支部

神戸支部恒例の新年互礼会が一月二十三日、神戸国際会館で開かれ、支部校友百六十五人に来賓として徳山校友会副会長、片山女子秀麗会会長、中西北摂丹波支部長、事務局から藤本次長を迎え、盛大に行われた。

佐野支部長の挨拶、徳山副会長の祝辞があり開宴、テーブルごとににぎやかに話の花が咲き、年男年女に支部長から記念品が贈られた。一言ずつの挨拶ではフランス語のスピーチまで飛び出した。

また、四年後に支部校友になる予定の国際留学生・趙玉珍さん（中国、今春四月入学）の紹介、挨拶があり、最後に石本聡氏（神戸市役所関大倶楽部）のリーダーで逍遥歌の大合唱、北摂丹波の中西支部長の音頭で万歳三唱、お開きになった。平成四年の事業計画の発表もあり、ゴルフ大会、家族園遊会での再会を約し散会した。（中村　記）

神戸支部新年互礼会で参加者が乾杯

逍遥歌で締めくくる兵庫自動車秀麗会

情報交換し共存共栄を

兵庫自動車秀麗会

メーカー系列を超え、兵庫県内の自動車関連企業に働く校友の集まり「兵庫自動車秀麗会」（会長、西村太一神戸トヨペット社長）の新春懇親会が一月二十八日夕、神戸三宮の国際会館で六十余人が出席して盛大に開かれた。

始めに西村治三郎顧問（神戸トヨペット会長）から、「ここ数年好況に支えられ、自動車業界は順調に推移して来たが、バブル経済の崩壊で、今後大きな伸長は期待出来ない。かかる時こそ、無駄な競争を避け、校友として人間関係を密にし、互いに情報交換をしながら共存共栄の道を歩まねばならない」と挨拶があり、引き続き西村会長が「当会は昭和五十八年十二月に発足し、九年目に入った。厳しい業界環境の中であるが、一層会の運営に工夫をこらし、意義ある校友の集いの場をつくっていきたいので会員皆様のご協力を願いたい」と述べ、来賓を代表して校友会の金田雅一事務局長は、「全国各地で多方面にわたり校友が活躍している。母校のため、企業のため、又己れのために精進されることを望む」と激励の挨拶と大学の近況報告が行われた。

懇親会のアトラクションでは塚本泰博さんのゲスト出演でプレスリーやポールアンカのギターと歌が会場を賑わせ、豪華賞品の福引大会も行われて会を盛り上げた。同時に新入会員の紹介もあり、最後に全員で肩を組み、逍遥歌の大合唱の後、多田良弘副会長（兵庫トヨタ専務）が閉会の辞を述べ、万歳三唱を行い、再会を誓って会を終えた。（小川　記）

幹事会兼ね開催　抱負も披露

女子秀麗会

北風がビルの谷間を凍らせていく新春一月八日、女子秀麗会の四年度新年会が、幹事会を兼ねて上本町ハイハイタウンで開かれた。御多用中にもかかわらず、稲野理事長、寺西評議員会副議長、校友会本部から植垣会長、藤本事務局次長、さらに西宮の保井支部長をはじめ、神戸、旭、西成、八尾の各支部代表、女子秀麗会前会長の鈴木顧問を来賓として迎え、総勢三十人が出席した。

片山会長の「新年おめでとう」の乾杯の後、各幹事が新しい年の抱負を披露する中での食事は、天山閣店主中田さん（31経卒）のご好意で、豪華美味、正月料理でカロリーオーバーになっていることも一時忘れ、たらふくいただいた。恒例のオークションは、幹事持ち寄りの品々を競り落とし、会の運営に充てようと、女子ならではの所持持ちの良さであった。

関大も、女子学生がますます増えつつあるとの母校の現状報告に意を強くし、会を一層発展させていこうと、会員一同思いを新たにした。最後に中村・神戸支部幹事長のリードで逍遥歌を歌い、夕やみ迫る我家へと、急ぎ戻る女性陣だった。（大浜　記）

今後の行事予定を内定

茨木支部

茨木支部（秋田豊蔵支部長）の「新春懇親会」が、一月十八日午後六時半から阪急茨木市駅前の「とり彩」で坪井一宇前参議院議員をはじめ幹事、校友四十人が参加し開かれた。

水野多美夫常任幹事が司会、別所一二副幹事長の指揮による学歌斉唱、三浦克司副支部長の開会挨拶について、秋田支部長から「支部会員の熱意と友情で組織活動が厚味を増している」との挨拶があった。本年度事業計画として支部ゴルフ大会を五月十三日（水）、会報第2号の発行を五月下旬に、総会は七月十八日（土）に市民会館ドリームホールで予定、特に総会の福引き賞品として「ハワイ旅行招待」を秋田支部長から個人提供したいとの思わぬプレゼントの発表があり、大拍手のうちに内定した。

さらにゴルフ大会の開催、会報原稿や広告等の編集発行、総会に一人でも多くの校友の出席を勧めることを「新年」にあたり、「信念」（念＝今の心を、人に言う＝信）をもって行動しようとのユーモアたっぷりの要請があり、一致協力していくこととした。

続いて最高齢出席者の辰己明夫幹事の発声で乾杯し、すき焼鍋を囲んでの楽しい懇親会となった。坂本寿栄子校友（昭28学二国）の著作集「冬の柿」と、重冨敏之茨木市長（昭29学二法）著「思うこと考えること」が秋田支部長の心尽くしで出席者に配布され、坂本さんからは謝辞が述べられた。初対面の校友のために各々自己紹介をし、互いに近況を語り合い、坪井前議員からも力強い決意の挨拶があった。おおいに盛り上がったところで、辻口信良常任幹事の名リーダーで逍遥歌を大合唱、最後に市役所秀麗会を代表し、生澤忍副支部長の閉会挨拶で支部活動の充実発展を誓い合って散会とした。（幹事長、中　記）

運営などで熱心に懇談

吹田支部の新役員

昨年九月の総会で役員改選を行った吹田支部（佐々木砂夫支部長）では、その後二役で常任幹事の選出を進めていたが、二月一日早後六時から、料亭・大川で新役員の懇親会を開催。三十六人が出席して今後の支部運営など熱心に懇談した。

今回の役員改選では「支部運営に若手校友と女性の参加を」との支部長の意向を受けて、過去二年間の総会に連続出席の昭和四十年以降の卒業生や女性校友をリストアップして常任幹事を委嘱、総勢六十一人の新役員が決定した。

懇親会では、学歌斉唱、役員選出経過報告のあと、佐々木支部長が母校の発展の経過を織り込んで「地元支部として母校発展に寄与して行きたい」と挨拶。支部顧問である植垣幸雄校友会長は「今年は四年に一度の校友名簿の刊行や校友評議員候補者の推薦など校友会も重要な事業を推進して行くので、ご協力を」と地元支部への期待を述べた。

今年卒寿を迎えた神屋敷民蔵顧問の音頭で乾杯、開宴。その後、出席者全員が自己紹介を兼ねて支部運営について抱負を述べ、今後の躍進を誓った。（中川　記）

北から南から

市の発展に寄与　気勢上がる

門真支部

門真支部（北野武治支部長）は昨年十二月十八日午後六時、仙亭で総会を開いた。校友会本部から植垣会長、藤本事務局次長、近隣支部から友田・寝屋川支部長、中・交野支部長、大谷・枚方副支部長、平井・守口副支部長、また職域会からは上肥・寝屋川市役所千里会長らが出席、総勢四十人の参加のもと西川幹事（三島神社宮司）の司会で進められた。

まず故久井理事長に対し黙祷を捧げた後、平野副支部長の開会宣言。続いて北野支部長は「昨年、門真市役所千里会が発足、門真支部と千里会は車の両輪のごとく協力し地域に開かれた関大と門真市発展のため、大いに貢献しよう」と挨拶した。

業務・会計報告を承認した後、植垣会長が「東さんが門真市長として活躍されているのは、母校、校友会にとって心強い限り」と話された。続いて支部顧問の東市長から「関大スピリットで市政に取り組んでいる」と力強い挨拶があった。

懇親会に移り、支部運営の悩みや解決策など大いに語りあい、最後に逍遥歌を合唱、次回は倍の人数で集まろう」と約し、お開きとした。（倉永　記）

和気あいあいジョーク出る

高槻支部懇親会

高槻支部（有福健支部長）恒例の年末懇親会は、さる十二月七日午後六時半からレストラン「ベルジュール」で開かれ、四十余人が参集した。

「関大」高槻支部旗に感謝しながら、肩を組み輪になって、各人各様に思いを込めて逍遥歌を歌い、散会した。（角　記）

童心に返ってXマス楽しむ

女子秀麗会結婚相談所

師走に入り、慌しさを加えた街を少し離れた大阪・桜の宮リバーサイドホテルで、女子秀麗会結婚相談所主催のクリスマスパーティが平成三年十二月八日午後一時半から行われた。片山久江会長の乾杯の音頭の後、参加者の期待と希望を内に込めた自己紹介があった。

今回のパーティでは、普段着の姿をいろいろな面から理解して戴けるよう、カラオケ大会を催した。選曲や歌う姿を好ましく思われた方もおられ、さっそく相談所担当者に交際希望の思いを告げる出席者もいた。

席上、結婚したばかりの会員カップルの挨拶、一年前のこのパーティで出会い、婚約が整ったお二人の話など、洒落た料理とアルコールも加わって大変熱い雰囲気に。「女子秀麗会結婚相談所は今後も同窓者の奉仕の精神で会を発展させていきたい」との西村寿美子副会長の閉会の辞の後、童心に戻って皆で「サンタが街へやって来る」を歌い、クリスマスソングが流れる街へ三々五々去って行った。（大浜　記）

次回総会を神戸で開催

友粋会

友粋会（昭13専門部二部商科卒）は昨年十一月二十七日、朝十時半に箕面駅に集合し、箕面公園、滝安寺を廻り、楓紅葉を満喫、箕面の滝との中間にある料亭「加古川」で総会を開いた。

大西昭男学長、植垣幸雄校友会長から祝辞を頂戴し、森田文一郎会長からビル新築お祝いのお返しなどあり、松本勧氏の音頭で乾杯、開宴となった。一同、時の経過も忘れて歓談し、次回総会は神戸での実施を決めた。

出席者は森田、松本、前田、田中、西山、川島、近藤、西沢、日野林、森本、並川の十一人。

総会を年二回開いているとマンネリになり、また卒業後五十三年を過ぎると、毎年一人一人と欠けていく淋しさ、ますますこの感を深くする。（並川　記）

校友会へ油絵寄贈

喜楽会

平成三年度の組織顕彰を受けた喜楽会（昭15専一同期会、会員五十八人）は、記念として十二月十二日、油絵「天六学舎」（二十号）を校友会本部に寄贈した。

この日、北原副会長、橋本幹事長、鉄井、小柳両幹事の代表四人が校友会本部を訪れ、植垣校友会長に藤本事務局次長立ち会いで贈呈した。同絵は、会員で故平通武男画伯（日展審査員）のご指導を受けた小柳光雄君が描いたもの。贈呈式のあと植垣会長と校友会の現況と発展のためのミーティングを行った。

同会は入学五十年を記念してループタイの制作、回顧アルバムの作成、物故学友の高野山普賢院（大先輩の森寛紹管長）での法要等の行事をすでに実施してきた。（橋本　記）

喜楽会から寄贈された油絵「天六学舎」

アメフトOB北尾氏の古稀祝う

昭和二十三年卒、アメリカンフットボール部OBの北尾郁之介氏の「古稀を祝う会」が、昨年十二月三日午後六時半から梅田ターミナルホテルで盛大に行われた。

北尾氏は卒業後一貫して関西学のあらゆる分野で活躍され、"関大バカ"と自他共に許す校友。当日は、大阪市会議長大西仙太郎氏（ボクシング部OB）、西宮市会議長田中章博氏（拳法部OB）、前参議院議員坪井一宇氏（柔道部OB）等々の先生方をはじめ、本学校友会役員、応援団OB千成会役員、体育会OBら総勢三百人近い方々がお祝いに駆けつけた。

本学稲野治兵衛理事長、大西昭男学長、植垣幸雄校友会長らの祝電、また関学大、同志社大、立命大の体育OB会長も出席され、錦上花を添えていただいた。さらに歌手の校友伊勢功一氏の「マイウェイ」のソロ、記念品の贈呈、お孫さんからの花束など非常になごやかな中、北尾氏御夫婦にとって最良のひとときであった。

最後に北尾氏のお礼の挨拶、全員での逍遥歌斉唱で素晴らしいお祝いの会を閉じた。（黒津　記）

お祝いを受けた北尾氏

貴重な提言出る　新役員選出

広島支部

平成三年度広島支部総会が十二月十一日、広島国際ホテルで開かれた。福富町議会議長に選出されたばかりの森沢薫副支部長が司会、まず新田篤実支部長から母校の隆盛と校友各位の健康と活躍を願う挨拶があり、会務・会計報告の後、懇親会に移った。

竹原市のアトム㈱代表、日下輝志氏（昭38学一経）は「広島出張の日程とタイミングが合った」と初参加、もう一人、中国四国管区行政監察局の小椋和雄氏（平3学一法）は、「初めての赴任地広島で多くの先輩校友に会えて心強い」と話していた。どこの支部の方でも校友なら大歓迎、気軽に参加してほしい。

出席者は総勢二十二人。事務局連絡体制の再検討など総会を盛り上げるための貴重な提言があり、学歌、逍遥歌を全員で高吟し、散会した。

四年度の支部役員は次の各氏。

名誉支部長　塩本一郎▽支部長　新田篤実▽副支部長　山本克美、並川寿男、森沢薫、杉野将昭、宮川昌幸▽事務局補佐　田中敏彦、花田正司、山崎寛司（宮川　記）

熱心に話し合った支部総会

クラブ活動いま。昔

顧問教授の目

言い表せぬ醍醐味

グリークラブ　杉本孝一

当クラブの四十年の歴史の半分以上もの長い間にわたり面倒を見てこられた小沼啓助教授が、昨年三月をもって顧問を辞任されることになり、その後継者として私が指名を受けたのは、一昨年末のことだった。日頃多忙で、学生課外活動の世話まで引き受けられるだろうか…と心配した私だったが、根が音楽好きのため、学生の申し出を承諾した。実は、過去に何回か、本学グリークラブの定期演奏会の切符をひそかに生協で買い求め、女房を連れて聴きに行ったことがあり、かねて関心があったからである。

こうして、昨年四月から顧問の大役を引き受けてしまったのだが、いざ引き受けてみると、まことに奇妙な人の縁に驚きの一年間であった。というのは、当クラブと深い関わりのある三人の専門家と私とは、不思議なことに旧知の間柄であることがわかったからである。まず、客員指揮者のロベルト・ブリーゲン先生である。先生は、クラブが毎年十二月の定期演奏会にご指導願っているが、ベルギー王国の在大阪名誉領事として、また、大阪ベルギー・フランドル交流センター館長として、本学とも縁が深い方である。私は、とくに、本学とベルギーのカトリック・ルーバン大学との交流をとおして、先生をよく存じ上げている。その意味で、グリーにはとても親しみを覚えた。毎年の定期演奏会で先生とお会いするのが楽しみである。

つぎは、同じく客員指揮者の田中信昭氏である。氏は、東京混声合唱団の常任指揮者で、日本の合唱指揮の第一人者であるが、私とは、旧制大阪高等学校時代のクラスメートの間柄である。これまで、法政大学アリオンコールを、客員指揮者として長く育て上げて来た人である。毎年六月に行われる本学と法政大学との交換演奏会では、当クラブも長年にわたり、氏の指導を受けている。これから毎年六月に会えるのが楽しみである。

最後は、作曲家の多田武彦氏である。氏は、男性合唱曲の作曲家として著名な方である。かつて、京都大学グリークラブの指揮者として活躍され、今日でも全国の学生達の間でとても人気がある。この人は、またもや、私の旧制大阪高等学校の同窓生で、学年は私より一年下であったが、同じ弦楽器部に属し、一緒にバイオリンの稽古などをしたことがある懐かしい旧友である。昨年の十一月、関西六大学合同演奏会の練習指揮のために来学されたが、その折には、学生達の計らいで氏と四十年ぶりでお目に掛かり、親しくお話をすることができた。夢のような懐かしい語らいのひとときを持ち、互いにとても喜び合った。このように、グリークラブと関わりのある三人の人物と私とが、過去に深いつながりがあったとは、何という不思議な縁だろう。わたしも、クラブの顧問を引き受けたことで手にいれたこの再度の出会いをうれしく思うし、大切にしたいと願っている。

グリークラブの良さは、今日のように物質文明が極度に発達した時代にあって、なおで「人の声のみによる」まことに単純な手法を用いていることであろう。全員の声が一つになって美しいハーモニーをつくり出し、聴く人の心をなごませ、慰めてくれる醍醐味は、言葉にいい尽くせない。

最近、部員の学生から、「練習そのものよりも、新入部員の確保にいっそう骨が折れる」と聞いた。趣味趣向の選択肢が多く、価値観が多様化した昨今の新入生を対象としたのでは、部員の確保もさぞ困難なことだろうと理解されるが、それでも、昨年春には多数の新入部員を受け入れた。演奏会も盛況で、活気があり、グリークラブの将来は明るいと思っている。このようなグリークラブの良さは、二十一世紀になっても決して変わることはないだろう。

演奏会では、私は、いつもながら「部員諸君が、よくもこんなむずかしい長い曲を、ここまで練習を重ねて、覚え、仕上げてくれたものだ」と感激する。そして聴衆を心から楽しませてくれたことに感謝する。もちろん、優れた指揮者と指導者の良き教えを受けたことに加えて、諸先輩のきびしいご指導と、暖かいご支援を忘れることはできない。グリークラブには七百名を越えるOB会員がおられ、そのうちの有志が「千里エコー」という合唱団を作り、毎年演奏会を開いておられる。現役との合同演奏の機会もあって、現役の活動を暖かく見守り、支えていて下さる。このような恵まれた本学グリークラブの将来に大いに期待したい。入学式や卒業式で聴いたグリークラブの合唱は、卒業生の皆さんもきっとよく覚えておられることだろう。だが、代顧問には、学長になられた故矢口孝次郎先生や明石三郎先生をはじめ、錚錚たる諸先生が名を連ねておられる。

このような伝統あるホッケー部顧問に、はしなくも私ごときものが就任することになったのは、つぎのような経緯による。記憶を頼りに一九八四年（昭和五九）の手帳を繰ってみると、十月二日の欄に「昼休み　ホッケー部員来室」と記されている。実はこのとき研究室へ訪ねてきたのが東宏次君（昭和六一年商卒）野村亞芳勤務）で、その前年に私が英書Iを担当したクラスの学生であった。かれはいつ、どこで、どうしてか、ずいぶんと私に親しみを感じていたようで、ずけずけと法政大学の歴史、とくに、ホッケー部の歴史、ルシアやギリシアに限らず、どこの地域にも見出されるであろう。現にメキシコ高原地帯にかつて栄えたアステカにも、一種のスティック・ゲームが存在したことが確認されている。

しかし、近代スポーツとしてのホッケーは、イギリスで、グラウンドの使用願を出すにも、クラブ振興費を受け取るにも顧問の判を貰えずたいへん困っている、しかしほかに知った先生がいないので、名前だけでよいから顧問になってほしい、とのことであった。私はホッケーのホの字も知らないし、国際交流委員会の委員になったばかりでもあったし、一瞬ためらったが、東君が訴えるホッケー部の窮状を見過すわけにもいかず、結局、判を押すだけでよければということで引き受けることにした。

翌年、東君の誘いに応じて、法政大学多摩キャンパスでの定期戦に同行して驚いた。丘陵地を造成した広いキャンパスのスポーツ・ゾーンの一角に、なんと人工芝を敷きつめ、ナイター用照明装置まで備えた立派なホッケー専用グラウンドが設けられているではないか。さすがは西の王者天理にたいする東の覇者法政だけのことはあるなと大いに感心した。わがホッケー部は、このところずっと法政に連敗している。それだけに、なんとか法政と互角に戦えるようになってほしいと切に念している。（商学部教授）

低迷状態の脱却を

ホッケー部　木田和雄

ホッケーの語源は、古いフランス語で〈羊飼いの杖〉を意味するオケ hoquet であるといわれているが、棒切れでボールを転がしたり、打ったりするスティック・ゲームの起源は、恐らく人類文明の歴史とともに古く、古代のペルシアやギリシアに限らず、どこの地域にも見出されるであろう。現にメキシコ高原地帯にかつて栄えたアステカにも、一種のスティック・ゲームが存在したことが確認されている。

しかし、近代スポーツとしてのホッケーは、イギリスで一八五〇年代より成立しはじめ、一九〇〇年の国際ホッケー委員会の設立と統一ルールの制定をもって確立した。わが国では、一九〇三年（明治三六）に早くも東京芝の虎の門高等女学校その他でスポーツとしてホッケーが採り入れられたと伝えられるが、関西大学にホッケー部が創設されたのは、それより二十五年後の一九二八年（昭和三）のことである。

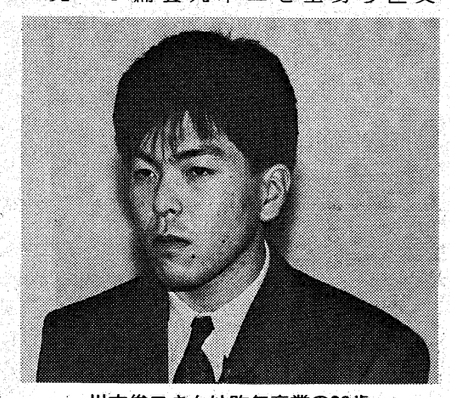
したがって、わがホッケー部の歴史は、建学いらい一〇〇年を越える関西大学の歴史からすれば、決して古いというわけでもないかも知れないが、一九三六年（昭和一一）に全国高専ホッケー大会で本学予科チームが初優勝したのを皮切りに、戦前から戦後少くとも大学紛争時までは輝かしい戦績を誇り、ナショナル・チームにも幾人かの選手を送ったことがある。このためか、歴代顧問には、学長になられた故矢口孝次郎先生や明石三郎先生をはじめ、錚錚たる諸先生が名を連ねておられる。

このような伝統あるホッケー部顧問に、はしなくも私ごときものが就任することになったのは、つぎのような経緯による。記憶を頼りに一九八四年（昭和五九）の手帳を繰ってみると、十月二日の欄に「昼休み　ホッケー部員来室」と記されている。実はこのとき研究室へ訪ねてきたのが東宏次君（昭和六一年商卒）野村亞芳勤務）で、その前年に私が英書Iを担当したクラスの学生であった。かれはいつ、どこで、どうしてか、ずいぶんと私に親しみを感じていたようで、ずけずけと法政大学の歴史、とくに、ホッケー部の歴史、

おめでとう川本さん

第28回「文藝賞」を受賞

芥川賞、直木賞と並んで文壇への登竜門である「文藝賞」を平成三年に卒業したばかりの校友が受賞、関西大学出身の〝小説家〟は珍しく卒業生や母校の先生たちを驚かせた。広島市南区翠一―三―二三、天満屋広島店勤務、川本俊二さん（三）がその人。一九九二年度の第二十八回「文藝賞」に応募した六百八十六篇の中から川本さんの作品「rose」（三百二十枚）が、他の一人の作品とともに見事、受賞した。



川本俊二さんは昨年卒業の23歳

鮮やかに若者の姿
虚構の世界に浮き彫り

作品解説　文学部教授　吉田永宏

日中戦争勃発直後の学生群像を描いた野間宏の「暗い絵」は別としても、石原慎太郎「太陽の季節」、大江健三郎「奇妙な仕事」、開高健「青い月曜日」、柴田翔「されどわれらが日々――」、三田誠広「僕って何」といった戦後の作品群が、各々の時代の学生像を活写したことの意義は大きい。今回の〈文藝賞〉を受賞した川本俊二君の「rose」もまた間違いなしに現代の若者の姿を鮮やかに描いた力作である。大阪駅に着いて直ぐに補導された高校一年生になったばかりのいとこの身柄を引き取りに、学生時代を送った大阪の地を再び訪ねた主人公「僕」は、それを契機に、自分とかかわりのあった二人の若い女性との過去の世界に否応なく今度は内面的に向き合わされる。就職試験という人生の大きな入口で難渋した「僕」は、結局郷里の広島に帰って自動車整備工場で肉体労働に従事し、そこで「頭上を移動するベルト・コンベアに乗ってゆっくりとだが確実に送られて来る製造途中の車両に、僕の担当する部品を組み込んでいると、車は一歩完成へと近づいたのかもしれないが、僕自身は分解され、一歩一歩崩壊へと近づいていくような感じがしてしまう」日常を送っているのだ。「僕は常に解消できない吐き気を抱え込んでしまったようだ。「何か特にやりたいという仕事がない。才能とか資格の有無を言う前に、やりたいことが僕にはないのだ。「僕が今一番求めているのは終業のベルではなく、有名な予言にある世界の終焉だ。（略）明日にでも核戦争が起きてくれれば、できれば終業のベルが鳴る前に。「僕は普通の暮らしをただ送っていたい。変化は危険だ。何も得たくないし、何も失いたくない」。家出をしたのは年下のいとこではなくて実質的には自分なんだとの認識に到る主人公は、大阪の人込みの中でショーウインドの硝子に映る赤いワンピースの幻の女と半永久的に向き合うの他はないのだ。作者の築いたこの虚構の世界には、紛れもなく現在の若者の実在の世界がある。

有望な新人作家の出現を喜びたい。

現在サラリーマン
いずれ作家活動専念へ

第一次予選で六十一篇が選ばれ、第二次予選で十五篇を選出、さらに候補作四篇にしぼられた末、昨年十月十五日の最終審議で受賞が決まり、十一月十五日、東京で贈呈式があった。賞金は五十万円。選考委員は江藤淳、大庭みな子、河野多恵子、小島信夫の四氏だった。「rose」は雑誌「文藝」冬季号に掲載されているが、一月九日、単行本で河出書房新社から出版。

川本さんは、広島県立皆実高校を出て関西大学文学部史学・地理学科に入り高橋隆博助教授のゼミ生として中世の日本史を勉強した。高橋先生も教え子の予期せぬ〝出世〟に「こんなに嬉しいことはない」と大変な喜びよう。受賞作は大学四年の夏に書き始め卒業してから書き上げたという。それ以前にもノートなどにいくつかの作品（未発表）を書き続けていたらしい。「作文は特に好きではなかったけれど中学時代から小説を書きたいと思っていた」そうで、少年時代の夢が実現したことになる。

現在、玩具売り場で働いているが、仕事は結構きつく、「連日執筆というわけにはいかない」が、休日などをフルに活用して「三作目に取り組んでいます」と意欲満々。自信がつけば将来は作家活動に専念したいという。「女の子もお酒も適当に楽しんでいます」と人並みを強調。両親、兄と同居中で、もちろん独身。

刺激に富んだ講演・討論
社会学部25周年記念シンポ

社会学部創設二五周年を記念して、社会学部主催の「二一世紀の〈大学と学問〉」と題するシンポジウムが、平成三年十二月十四日午後一時半から四時半まで、社会学部一〇一教室で開催された。

社会学部は、社会と学問との変動に対応すべく一九六七年に設置され、その後も、学際性と専門性、理論と実証のバランスを意識しながら、カリキュラム改正や入試の多様化など、プラグマティックな精神を体現しつつ柔軟に対応してきた。今回のシンポは、新たな第二・四半世紀を迎えるにあたって、社会学部の将来展望を、学問と制度の両面から検討したいという趣旨からの企画であった。

前半の基調講演は、「大学の未来像――大学改革の新段階」（潮木守一・名古屋大学教授）と「二一世紀の人間科学を考える」（吉田民人・東京大学教授）。後半は、本学社会学部の池田進教授の進行のもと、岩見和彦教授と雨宮俊彦助教授とが、基調講演をめぐる討論に加わった。

わが国高等教育研究の第一人者である潮木教授は、欧米における大学の栄枯盛衰に学び、また大学基準協会委員としての、あるいは名古屋大学に日本最初の大学院国際開発研究科を「創業」された、自らの体験に基づきながら、責任ある「守成」のためには、専門化と学際化、それに国籍・年齢など学生の多様化をおしすすめることが重要で、学生が教室にもってくる多様な経験それ自体が貴重な資源であり、それが知的創造・伝統の組み換えを促すと提言された。

吉田教授は本学社会学部の前身、文学部新聞学科で社会学者としてのスタートを切られ、現在も理論社会学の最先端を開拓されている。講演では、ヒトの社会システムの構造を制御するシンボル情報の重要性を強調し、そこに「事前主体選択」という概念を導入することによって、理論社会学に新しい進化論のパラダイムを構築することができると主張。討論では、人間諸科学は「情報」をキー・コンセプトにしてトランス・ディシプリナリーな統合に向かうだろうとの予想が示された。

いずれの講演・討論も刺激にとんだ内容で、二百人を超える参加者はあらためてこれからの大学・学部の方向、学問のありかたについて考えさせられた。

新刊紹介

書名・著編者・出版社・定価の順

「日本経済と部落産業」
―中小企業問題の一側面―
田中　充（経済学部教授）著、解放出版社刊・一、六〇〇円十税四八円

本学は人権問題、ことに部落問題に取り組み出したのは古く、大阪市立大学に続いて二番目、私学では初めてという画期的な歴史を誇っている。

部落問題研究室（現人権問題研究室）の初代研究室員として活躍されている著者は、経済学ことに産業問題に携わる研究者の立場から、経済学の本質及び究極の目的はヒューマン・ビーイングとしての人間が物心両面において安定成長的な生活をおくることを意図しているにもかかわらず、現実社会は弱肉強食で、ことに日本経済においては、対等でなければならないのに大企業と中小企業はそうではなく、この中小企業の最末端層に被差別の位置にある部落産業が存在している、ということを鋭く問題指摘されている。

周知のように、日本経済の驚異の発展は国際的にも問題になってきているが、日本経済・産業界の矛盾、不合理な実態が本書の中で明らかにされている。本学の建学のモットーである「正義を権力より守れ」という精神からも本書がその役割を担いうるものと思われる。これからの経済・産業界はグローバルな規模でもって対応することが一層要求されるであろう。

本学の校友諸氏は、法曹界をはじめ経済・財界、教育界、行政・政界等、幅広く活躍されている。それだけにまたヒューマニズムの立場からの対応が迫られていると言えよう。本書が役立つことを確信する次第であり、必読の書である。

＝徳山喜昭（校友会副会長・日本学術会議リスクマネジメント学会評議員会議長）

「パリを歩きま専科」
乾　昌明（29学一法、梅田サービス代表取締役・校友会常議員）著、関西大学出版部刊・二、〇〇〇円

誰もが一度は行きたいとあこがれる世界の恋人。花の都パリ。パリに多きは美術・博物館と犬の糞。街全体が博物館。良きにつけ、悪しきにつけ、芸術家はそんぶんに才能を発揮し、世界から集まる学生・若人はエネルギーを発散し、モードが生みだされ、歓楽と悪徳も渦まく街。しかし一度足をふみ入れ、生活してみると人は魂の故郷としてパリのとりこになってしまう。

そんなパリを、たとえフランス語が話せなくても、「パリに行けば、こんな一味違った楽しさがある」。「こんな歩きかたなら私にもできる」ことを教えてくれ、私達を勇気づけるために、最近、少なくともエッフェル塔一〇〇年記念の年一九八九年前後に何回もパリを訪れ、描きためたスケッチを挿絵風のペン描きに描き改め、それに気どらぬ心あたたまるエッセイを加えて画集「パリを歩きま専科」が関西大学出版部から刊行されました。

一一〇枚をこすスケッチはユトリロ・ロートレックが愛した右岸の歓楽街十八区のモンマルトル界隈二八点、藤田荻須・佐伯祐三らが写した四区のシテ島周辺二〇点など七〇点。左岸では五区カルチェラタン二〇点、六区サンゼルマン・デ・プレ、モンパルナス界隈二五点など五〇点。つい見落してしまう昔懐かしい立小便所エスカルゴや空瓶回収箱まで描かれている。

乾氏が佐伯祐三を敬慕し、彼の足跡を訪ね、今昔の推移をじっくりとみつめた氏の澄んだ眼差しを通して、はじめて描きえた他に類例をみないすばらしい画集です。

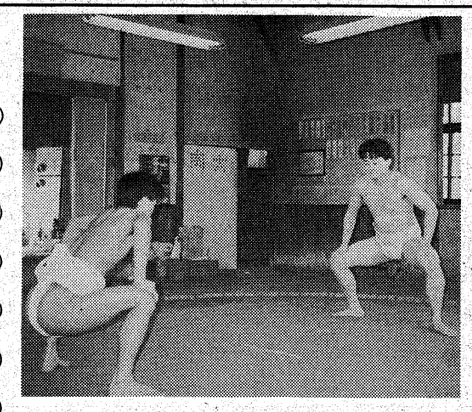
＝津川正幸（経済学部教授）

箕面支部が団体戦優勝
阪神地区近隣支部対抗親睦ゴルフ大会

阪神地区近隣支部対抗親睦ゴルフ大会が十二月十一日、三田ゴルフクラブで七支部三十四人が参加して盛大に開催された。団体戦は箕面支部が制し、ホスト北摂丹波支部が第二位にくいこんだ。

個人戦は、伊丹支部からただ一人参加の前田宗彦氏が優勝をさらった。あとの懇親会も大変盛り上がり、楽しいコンペになった。次回は箕面支部のお世話で開く予定。

（今西　記）



授業の合間を縫っての猛げいこ

成績アップへ懸命
9月に創部100周年披露

相撲部

関西大学相撲部（顧問・井上昭一商学部教授、川口浩監督）は、昨年十一月に堺の大浜相撲場で開かれた第六十九回全国学生相撲選手権大会に出場、団体Cリーグで準優勝した。平成元年のCリーグ優勝につぐ成績で、今年九月十三日に一〇〇周年記念会館で開く「創部一〇〇周年記念披露レセプション」を控え、九人の部員たちはさらに成績のアップをと、けいこに余念がない。

同大会では、高野山大、東京大、玉川大と連破、準決勝で再び対戦した東大を3―2で降したが、決勝で慶応大に2―3と惜敗。また、引き続いて行われたBリーグでは体格、技術とも差が目立ち、十六校中、十四位にとどまった。

過去、全国大会で団体、個人とも優勝、常に優勝候補の筆頭にあげられるなど輝かしい歴史を誇る同部だけに、OBたちも創部一〇〇年を機会に二段の飛躍を願い、バックアップ体勢の一層の充実をと張り切っている。

大阪文化論　その21

大阪文化と大阪人と⑦

社会学部教授　廣田君美

大阪人の仕事観をめぐって

一　われわれの第二の調査

いままで考察してきた大阪的イメージや大阪人のパーソナリティの特徴と行動様式の調査に加えて、仕事についての考え方や価値の置きどころが東西でどう違うであろうかという広汎な調査をおこなった。従来、東京の政治の都に対して大阪を商都とよんできた。大阪を商売の街と考えることが、金にうるさくてケチでがめついというイメージと結びついてきた。大阪人のケチとは決して貪欲なのではない。簡単にいえば、ものの始末をつけることなのである。つまり、物事の始めと終りのバランスをとることであり、人生に対するすぐれた平衡感覚なのである。この「始末」という考え方は人のつきあいで義理を大切にすることや、関西風といわれる深みのあるバランスのとれた味や、金銭感覚に実に巧みに現われている。

そこで、われわれは、東京圏と大阪の三〇歳未満の男子勤労者八五六名を対象として、仕事について東西にどんな差があるかを、文化の重要な指標である価値観の相違としてとらえようとしたのである。

二　仕事についての東西比較

働くことの重要性については東京圏も大阪も差はないが、仕事に関連して集団への帰属意識を調査してみると、大阪は東京圏にくらべて帰属意識がつよい。①どんな組織でも参加することは好まないが強く、いわゆる集団主義がより強いと考えられる。

ついで働くことの意味について東西比較を試みてみると、生きがいを得るため、他人のためになる、社会に貢献するなどの項目の中で収入が得られるからという回答が大阪に多く、大阪人の経済主義が特に目だっている。これをも経済主義的志向のより強いことを現わしていた。

ついで、高齢化社会を迎えて、停年や年金問題、女性の社会進出などを始めとして、さまざまな社会的問題や社会的変化に対する社会意識の東西比較を試みた。

結果を見てみると、東京圏は相対的に保守的で、大阪地区がより革新的である傾向が見いだされた。われわれは社会意識を解明するための説明的概念として社会意識類型を採用した。これは「伝統志向」―「変革志向」を横軸に、「理想志向」―「現実志向」を縦軸にとり、この組合せで社会的意識を説明しようとする試みなのである。これによると、東京圏には伝統―理想型が多く、大阪圏には変革―理想型が有意に多いという結果が見いだされた。

三　大阪人の仕事観

以上、働くことの検討を通じて見た大阪人の特徴は、集団志向性、生活重視、革新的傾向の三つであった。これらの特徴は商都としての大阪の経済合理主義、庶民性、パイオニア精神などの特徴と表裏一体をなす特徴でもあった。

戦後の大阪が見せたあの力強い復興も、さきに取りあげた集団志向性、生活重視、革新性がその根底のエネルギーとなったと言えよう。特に大阪人の政府にたよらない大阪商人独自の力による復興は、大阪人のより強い集団主義的連帯とパイオニア的精神を培うことになった。あの土着的なものへの熱狂的愛着、あの弱い阪神タイガースへの異常な同一化現象、さらには、大阪に特に突出して見られるベンチャービジネスなども、この集団主義や生活重視や革新性といった特徴と通じていく大阪人的エネルギーの発露なのである。このように考えてみると、最初に触れた大阪人の「始末」こそは「ケチ」なのでなく、現実的な生活を中心にした巧みなバランス感覚なのであり、東京の対極としてバランスをとろう、終始を合わせようとする感覚なのである。東京と対照的に思われるいろいろの大阪人的特徴や文化は、実は東京一色に染まるのを避けようとする大阪人独自のバランス感覚から出た意図的な営みなのかもしれない。日本が東京一極への集中化を防ぎ、東京一色になる最後のとりでとしての必死の使命感みたいなものさえ感じられる。次回は最終回として大阪人のこの革新性と創造性について触れてみよう。

高松塚古墳20周年
3月15日　記録再現と講演会

遺存状態の良好な極彩色の壁画で日本中をあっと驚かせた一九七二年の高松塚古墳（奈良県明日香村）発掘から二十年、関西大学考古学等資料室と同事業局は、「高松塚壁画古墳発掘20周年記念―記録再現と学術講演会の一日―」を三月十五日（日）午前十時から関西大学一〇〇周年記念会館で開く。

飛鳥史学文学講座振興会、関西大学文化学術振興会協賛で、座談会、講演会、映画・ビデオの上映と中身の濃い内容で、当時の感動を再現する。参加費は三千円（資料代・昼食代含む）、定員三百人で先着順。

稲野治兵衛理事長、大西昭男学長の開会挨拶のあと、高松塚古墳発掘に実際にかかわった方々による座談会「高松塚古墳発掘から20年　あの時私は…」。昼食休憩をはさんで午後零時十五分から「高松塚古墳発見に関する記録の再現」（映画・ビデオの上映）、一時十五分から、有坂隆道・関西大学名誉教授の講演「高松塚古墳に埋葬されていた人」、引き続き二時半から、網干善教・関西大学文学部教授の講演「高松塚古墳発見から20年」があり、三時半閉会する。

問い合わせは〒564　吹田市山手町三―三―三五　電話〇六―三八八―一一二一（内線二五一一）　関西大学事業局事業課へ。

クラリネット八重奏
大阪大会で金賞

関西大学応援団吹奏楽部のクラリネット八重奏は、一月五日、大阪府立青少年会館で開催された第十八回アンサンブルコンテスト大阪大会大学部門で見事に優勝、金賞を獲得した。

この結果、二月十六日に和歌山県民文化会館で行われた関西大会に出場。八人のメンバーは同大会での金賞、さらに全日本大会での優勝（昨年は銀賞）を目ざし、連日猛練習を続けている。

写真はアンサンブルコンテスト大阪大会で熱演する関大クラリネット八重奏

松村助教授文学博士に

文学部の松村暢隆助教授は平成三年三月二十三日付で、京都大学から文学博士の学位を授与された。論文題目は「幼児の知的発達」。

訃報

高島屋（たかせ・たかお＝元工学部教授）は、一月六日、心不全のため死去。八十二歳。

川根洋三氏（かわね・ようぞう＝16専二法、弁護士）は、一月九日、心不全のため死去。七十二歳。

高瀬孝夫氏（たかせ・たかお＝元工学部教授）は、一月六日、心不全のため死去。八十二歳。

三浦重男氏（みうら・しげお＝臨16専二国、現宮川小学校長）は、一月二日、病気のため死去。七十四歳。

なお、一月三十一日、従六位勲五等瑞宝章が贈られた。

荒井ヤノさん（あらい・やの＝荒井廣校友会参与・法人評議員の母）は、一月一日、脳内出血のため死去。九十四歳。

森内純吾氏（もりうち・じゅんご＝7専経、社団水生会柴田病院顧問）は、三年十二月二十四日、老衰のため死去。七十九歳。

白井コトエさん（しらい・ことえ＝白井宏長校友会常議員の母）は、一月十二日、老衰のため死去。八十八歳。

川合久男氏（かわい・ひさお＝16大経）は、一月十二日、病気のため死去。七十四歳。

太田　淳氏（おおた・じゅん＝30学二経、大阪府住宅供給公社監事）は、一月十七日、すい臓がんのため死去。五十九歳。

伊集院　賢氏（いじゅういん・まさる＝7大法、元第一コンクリート常務取締役）は、一月二十二日、心不全のため死去。八十八歳。

中川有三氏（なかがわ・ゆうぞう＝元工学部教授）は、一月二十七日正午、肺炎のため死去。九十二歳。

関西大学・教育後援会・千寿会ご下命店
学章型薯蕷（上用）謹製
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556　大阪市浪速区難波中3―13―28
電話（06）641―1666（代）
FAX（06）647―6478
高島屋大阪店地階東館　和菓子売場内
高島屋大阪店7F・大阪梅田阪急百貨店8F
各ブライダルサロン
大阪府内・神戸市内、有名ホテル・結婚式場
代表取締役　山本俊雄（千寿会会員）
常務取締役　山本雅巳（S53学1法卒）

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無糖茶・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量（0.007）！冷やして飲んでも最高です。
減やせたい方に量
アルカリ飲料　美容健康茶
ウエイトコントロール　味はさわやかマイルド
●ティーバッグ（20袋入）3,300円
●ティーバッグ（50袋入）8,000円
●特選お徳用（130g入）2,000円
●特選マイルド（300g入）1,500円
●特選マイルド（300g入）3,000円
中國皇茶　楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元　株式会社タグラ　試供品請求券
大阪市北区芝田2-6-18　商工中金ビル　☎（06）373-2101代

鑄鋼
深孔明加工
B.T.A方式
ガンドリル方式
普通鋳鋼
特殊鋳鋼
孔径　1.4φ～300φ
孔明長　250ℓ～10000ℓ
O.C.S
創業60周年
合資会社　大阪鑄鋼所
代表社員　澤山政康（S21大経卒）
本社　尼崎市長洲西通1―9―1　電話（06）401―0461（代）　ファクシミリ（06）488―9283
鋳鋼工場　大阪市都島区友淵町3―6―19　電話（06）921―1477（代）　ファクシミリ（06）923―1477
姫路工場　姫路市大津区勘兵衛町141　電話（0792）39―1256　ファクシミリ（0792）39―7919
東京営業所　東京都中央区日本橋通3ノ8（誠ビル）　電話（03）271―8437

先生が学ぶ英語教授法
S.I.T.大学院
日本にいながら米国留学
エドモンズ大学
総長　溝田弘利（関西大学30年卒業）
ワシントン州立　エドモンズ大学日本校
〒651-11　神戸市北区山田町小部字大脇山4-1（神戸弘陵学園高校北隣）　☎（078）631-0860（代）

Graph Media
人間環境情報グラフメディア
印刷新時代をリードする
東洋紙業株式会社
大阪本社：大阪市浪速区芦原1丁目　☎（06）567―2111（大代表）　〒556
東京本社：東京都品川区南品川6丁目　☎（03）450―2111（大代表）　〒140